

滝上町立滝上中学校 学校だより

滝上町学校教育目標 学ぶ意欲・豊かな心・健やかな体

重点目標：「向上心をもって、主体的に学び合う生徒」の育成

学びの機会に

新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）の流行のニュースが毎日聞かれ、大変心配をしております。学校として、第6波への警戒はしてはりましたが、これほどの急速な感染の拡大は、予想ができておりませんでした。

感染症対策の消毒用アルコールの準備や加湿器の点検、感染時の対応の確認を丁寧に行う先生たちの姿は、日常のものとなっています。オミクロン株の特徴は、感染力が強く、急速な広がりが見られることや、喉や気管など呼吸器の浅いところに悪影響を及ぼすこと、急激な発熱などが見られることなどがあるようです。学校として、これまで通り、登校時に一人一人に声をかけ、検温をし、手指消毒をさせていきます。また、教室では「換気の徹底」「3密の回避」を継続していきます。昨今の町内の情勢から、ご不安を感じているご家庭は、出席停止での扱いができますので、担任にまでご相談ください。また、濃厚接触であったり、陽性反応が出てしまうケースも、これからはあるかと思えます。その場合、当該家族や生徒は、そのことに大変悩まれているのではないかと感じております。感染は偶然であり、そのことで攻めたり、避けたりすることなく、体調が戻ることを見守るスタンスでいてください。

『滝中モラル』相手の気持ちになって、行動できる人になろう！今まさに、そんな学びの機会なのかもしれません。

冬季休業中に「冬休み学習会」を開催し、各日15名もの生徒の参加がありました。夏にも同様に学習会を開催しましたが、集中して40分間、机に向かうことができる生徒が増えたように感じました。これだけでも、すごく成長したのを感じることができました。宿題も試験勉強も進んだようで、参加してよかったという声が多く聞かれました。

いよいよ受験シーズンが始まりました。

3年生は出願先に提出する「願書」を12月中には完成させ、面接の練習も始まっています。義務教育9年間が終わり、ここから先は自分が希望する進路を選び、それぞれが別々の道を歩んでいくことになります。

頑張れ！3年生。



<学習会での様子（カメラ目線で）>

部活動・少年団の活躍

＜吹奏楽アンサンブルコンクール＞

1月15日に、北見市民会館で開催された第44回北見地区管楽器個人アンサンブルコンテストで、吹奏楽部が銀賞を受賞しました。年が明け、冬休み中もずっと練習に精を出す吹奏楽部の姿がありました。本当によく頑張りました。

＜中体連 全道スキー大会＞

1月13日～富良野スキー場で開催された中体連全道スキー大会で、滝上スキー少年団に所属している2年生の山崎涼太郎君が、男子スラローム（SL）の部で12位に入り、長野県で開催される全国大会出場を決めました。さらに1月31日～長野県野沢温泉村で行われた全国大会では、各都道府県の代表180人が出場した男子SLで、見事26位！しかも、北海道選手の中では3位という素晴らしい結果を収めました。学校を離れ、遠征が続き大変な面もあったでしょうが、本当によく頑張りました。

通学路アンケートより

PTA 総務委員会の活動として行われた「通学路アンケート」は、幸町の校舎に移転して初めての冬季の通学路アンケートとなりました。アンケートの中で、神社下から「文化センターまで」の神社側の歩道が除雪されていないことでの登下校に関わる危険性の指摘がありました。

学校としても早急に調べたところ、冬季には神社側の斜面からの落雪雪崩の心配などから、あえて除雪をしておらず、江本木材側の歩道を歩いてほしいことを教育委員会や建設課などに聞き取り、回答を得ることができました。また、あの道は、斜度のある曲線で冬季には、非常に滑りやすいことがかねてから指摘されている道道であることも分かりました。

校舎移転後、多くの生徒が登下校で使う道になっていますので、「車道を歩いたりせず、江本木材側の歩道を歩くこと」や「道路を横切るときは、信号機がない関係でマルキヤさんの交差点が見渡しがいいので、そこで横断するよう指導すること」などを対策として考えてみようと思っています。

小学校前の国道から大型トレーラーが右折左折する時の、枝道への進入などが危険ですなどの指摘もありました。町への報告も進めていきます。

文責 教頭 豊口光宏